

西粟倉小だより

令和5年10月31日 NO. 7

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurashogakkou/>

実りの秋 充実した学習へ

暑い日から一転寒い日へと極端な変わり方に今年もなっています。過ごしやすい秋はどこへいったのでしょうか。身体も調整が大変です。皆様、ご自愛ください。

その中でも、この2か月の間に様々な学習や行事が続いています。じっくり取り組むことができる時期。「何のためにする」という目的や「どんなことをめざす」の目標をもつ、区切りの場面で、感じたことや考えたことを振り返る。学習場面では、こうしたことを多く取り入れます。活動を自分の事として捉えること、何を学んだのか、次に生かして行動できることをめざします。

学校の良さは、一人ではないということ。刺激し合い、考えたことを言葉や行動で試してみ、それを互いに言葉で返し合う。私たち教職員も子どもたちによい体験に出会ってほしい、価値あることを伝えたいと考えています。子どもたちの自立に、小学校で付けたい力を「自信 チャレンジ つながり」をキーワードに進めています。

「虫歯の治療をお願いします」

1学期の歯科検診、健康診断で病院でみていただくようお知らせをしています。特に、虫歯の治療率が低いです。虫歯は、歯医者さんでの治療でしか治りません。一生使う大切な歯です。どうか、治療の必要なお子さんは受診をお願いします。

学校教育目標

「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく自ら学ぶ 児童の育成」

めざす子ども像

○かんがえる子(自ら考え行動する子)

○やさしい子 (思いやりがあり、助け合う子)

○がんばる子 (最後までやりぬく子)

村福祉大会合唱発表

9月24日(日)



春から全校音楽として、この日に向けて練習を重ねてきました。地域の合唱団、みどりの共和国合唱団の皆さんとの共演も引き続き行うことができました。



「わが子もみんな卒業したこの学校の子もたちの歌声が楽しみだから、毎年この大会に来ている。」昨年、こうしたお話を伺いました。

「村を元気にする」その思いを歌声に乗せて、練習した力を仲間とともに発揮する。緊張するけど、チャレンジする。



発電とは 5年

9月20日(水)

「西粟倉百年の森林でんき」の寺尾武蔵さんからエネルギー・発電について教えていただきました。1学期には、この会社設立記者会見をオンライン配信で見学した5年生。西粟倉の発電から学びます。



◆百森でんきがやっているお仕事

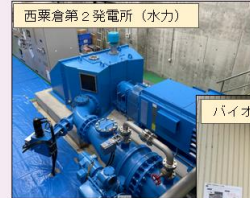
①オンサイトPPA事業

- ・村の施設（学校など）や、家の屋根を借りて太陽光パネルを置く。（つくった電気を売る）



②村の再エネ施設の管理

- ・水力発電所
 - ・バイオマス発電所
 - ・バイオマス熱供給ボイラ
- （安全に運転する手伝い）



体育館の屋上の太陽光やバイオマス熱供給ボイラー（地域熱）での暖房設備は身近です。

「電気ってエネルギーが変身した姿」「エネルギーは、身近なところで生まれている」

◆百森でんきがやっているお仕事

③地域のイベントなどに出店！

電気についてもっと知ってもらう活動
※発電の大変さ ※電気の大切さ

【自転車発電機を使った発電体験】

- ・UFOキャッチャーの電源をつくる
- ・バッテリーに電気をためて、映画上映会



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



「新しいエネルギーの使い方はないかなあ、と考えてみてください。まだ使われていない方法がきっとあるよ。これが、未来の生活を豊かにするかもしれない。」

そして、石油などの化石燃料が少なくなっていること、CO2の排出を減らすよう世界規模で取り組まれていることと西粟倉村の取り組みをつなげて教えていただきました。



チャレンジ

未来が、安心してだれもが豊かな暮らしができるように、世代世代で受け継いでいけるように仕事をしています。」寺尾さんからの学びをスタートに発電について考える5年生です。



出番直前、6年生のかけ声「がんばるぞ！」全員で「おー！」緊張の中で気持ちを盛り上げます。



子どもたちの透き通る声は広い体育館に広がりました。最後は、あいさつタッチで退場です。このことも、保護者の皆さんに見ていただいたことも何年越しの光景でしょう。参加された皆さんにまた、がんばったねと温かく声を返してくださることでしょう。とても価値のある活動です。



絵本の魅力 1・2年

9月25日（月）

「うっそだあー！」うっちー先生が読むたびに子どもたちは、大喜び。

絵本専門士 うっちー先生を招いて、絵本の読み聞かせの時間です。

すべりだい・たぬきのひみつ・うそだあ！・ふしぎなナイフ

次々に、たくさんの絵本が登場します。絵本は、ゲームと違い、動きません。でも、次に何がでてくるのかわくわくします。ページが変わる、予想した通りだったり、予想外だったり。



うっちー先生の引き込む読み聞かせや、体で表現する時間も続きます。本に親しみ、子どもたちの想像力を広げたい。全校読書、ピッピさんの読み聞かせ、物語給食、セカンドブックスタートetc多くの活動が続きます。



スキー板合わせ

9月26日(火)

全校でスキー板と靴のサイズ合わせの日です。雪のシーズンには早いですが、西栗倉小恒例の活動です。



写真は、1年生のサイズ合わせに6年生がお世話をしてくれているところです。体格も随分違います。身体を小さくかがめながらの背中に優しさがあふれます。1年生、よかったね。



異学年で活動は、役割を果たすことができます。相手を意識して、思いやって行動できること。こうした経験で、「次は自分も」ときっと感じるでしょう。



つながり



参観日・引き渡し訓練

10月3日（火）



2学期初めての参観日。運動会とは違い、授業場面を見ていただきました。タブレットでの自己紹介、図工や説明、考える場面など学年に応じて様々な内容でみていただきました。



多目的ホールで大雨による天候の悪化を想定し訓練を行いました。もしもを想定した訓練へのご協力感謝いたします。

教科の内容を学ぶことを通して、主体性や思考力、協働性という「自信 チャレンジ つながり」を育んでいきます。

ハードル週間

10月4日(水)～12日(木)

業間休みの時間を使い、ハードル運動に挑戦です。コースごとに、ハードルの種類や間隔が分けられ、自分なりの走り方に磨きをかけます。



日常の動きや走り方とは違う体の使い方です。全国的な課題、運動の機会が減り、体力低下といわれることからこうした活動を行っています。チャレンジする心、粘り強さにも磨きをかけたいのです。



もみじ弁当給食

10月12日(水)



お弁当仕立ての給食です。一人一人に手をかけて、しかもおいしいメニューです。おかわりにもたくさん集まりました。その後は、秋晴れの中、気持ちよく、遊ぼうデーで過ごしました。

